

「座禅 大変だったよ」

吉井 仁叟寺で「集い」

子供たちに夏休みの思い出づくりと禅に対する理解を深

めてもらおうと、多野郡吉井町神保の仁叟寺(渡辺隆司住職)で二十六日から二十八日まで「子供禅の集い」が行われた。



同集いは同町の龍源寺(渡辺啓司住職)で始められた子供禅の集いがルーツ。ことし

座禅の集いの感想を発表する参加者

十三回目を迎える夏の恒例行事。龍源寺住職の父親の寺、仁叟寺に座禅堂や研修施設が完成したため会場を堂寺に移して行われている。

二泊三日の集いには吉井町をはじめ高崎、前橋などから小学生五十四人が参加。

一行は午前五時半起床、午後九時就寝の規則正しい生活の中、朝夕の座禅、体操、清掃、講話受講などに取り組んだほか、レクリエーションとしての花火、きもだめしで仲間との交流も深めた。

最終日の二十八日には体験の感想発表も行われ「座禅が大変だった」「仲間ができた」「花火が楽しかった」などの声が寄せられていた。

座禅大変だったよ

吉井仁叟寺で「集い」